

令和5年度特定外来生物等対応状況

生物多様性センター

生物多様性センターでは第2次生物多様性えひめ戦略に基づき、外来生物対策の推進を図っており、外来種に係る情報収集と対応を業務の一環として実施している。令和5年度の対応状況と今後の対応について特定外来生物を中心に報告する。哺乳類・鳥類4件、爬虫・両生類4件、魚類・甲殻類0件、昆虫・クモ類14件、植物3件の情報提供があり対応した。

1 アライグマ

6月に今治市、10月と2月に西条市で写真撮影による目撃情報があり、周辺調査および県防除実施計画に基づいた箱わな設置を実施したが捕獲されなかった。1月に新居浜市で足跡が見つかり、無人カメラを設置したが撮影されなかった。

2 ゴケグモ類(セアカゴケグモ・ハイロゴケグモ)

10月に砥部町でセアカゴケグモが町内初確認され、周辺調査を実施したが追加の成体や卵嚢は確認されていない。11月に四国中央市においても私有地で本種が確認され、近隣の公園においても確認されたことから同市と連携して定期的な調査を行うこととしている。令和元年に複数の個体が確認された新居浜市と松山市では定期的なモニタリング調査を継続している。新居浜市では11回の調査で108頭のセアカゴケグモが確認された(図1)。松山市では12回の調査を実施し、周辺の墓地で新たに確認されたことから市関係部署が注意喚起を行った。令和3年に複数の個体が確認された今治市では市職員を対象とした研修会を2回実施した。

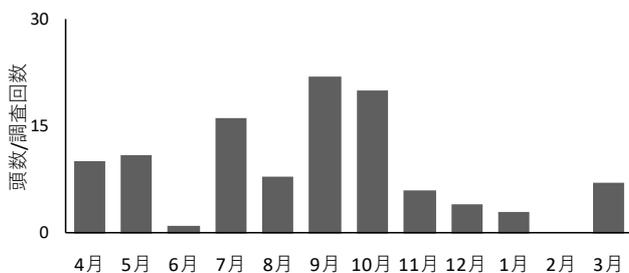


図1 新居浜市セアカゴケグモ確認状況 (令和5年度)

3 ヒアリ類(ヒアリ・アカカミアリ)・アルゼンチンアリ

新居浜市の港湾を中心に2回/年の頻度でモニタリング調査を実施した。7月24日に実施した調査においてアルゼンチンアリが県内初確認され、誘引殺虫剤による初期防除と分布状況調査を実施した。分布状況調査では新たな確認地点は発見されなかった。追跡調査を継続したがアルゼンチンアリの捕獲は認められなかった。なお、ヒアリ・アカカミアリは確認されていない。その他海外航路を有する港湾(松山、今治、川之江)は、環境省委託によるモニタリング調査が継続されている。本種の主な侵入ルートは海外航路のコンテナであり、愛媛県でも侵入の可能性は常に存在していることから、今後も警戒を続けていく必要がある。

4 外来カメ類

複数のカミツキガメが確認された今治市伯方島において同市と合同で実施している。令和5年度はのべ98基のカゴわなを設置して4頭が捕獲され(表1)。6月に住民からの通報により幼体1頭を確保した。

表1 カミツキガメ捕獲調査実績(令和5年度)

調査月日	方法	設置数	捕獲頭数
6月28日	カゴわな	20	1
6月28日	その他	-	1
7月27日	カゴわな	20	0
8月23日	カゴわな	20	1
9月14日	カゴわな	19	0
10月19日	カゴわな	19	2

5 外来植物類

今治市と西条市の河川においてナガエツルノゲイトウが県内初確認されたことから、自然保護課と連携して関係機関への注意喚起を行った。また、分布状況調査を実施し、西条市において除去に係る作業手順について現地検証を行った。